

岩手県立高田高等学校 広報



第11号

八重の汐

技訓
至誠
錬磨
創造

始業式及び 全国大会報告会

八月十八日(水)、始業式が行われ、夏休み後の学校生活が再開されました。始業式後には、全国大会報告会が行われました。

感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、氷上ホールで行われている式及び報告会をMicrosoft Teamsで中継し、生徒は各教室で視聴しました。

中継アプリケーションを、これまでのZoomから変更したため設定が完了するまで少々時間を要しましたが、時間内に式と報告会を終えることができました。



始業式での校長講話



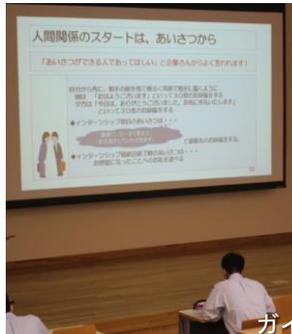
Microsoft Teams での中継

インターンシップに向けた事前ガイダンス
八月三十一日(火)の三・四校時、インターンシップ実施に向けた事前ガイダンスが、一・二学年の就職・専門学校進学希望者を対象に、シヨブカフェ気仙様から講師をお招きし開催されました。
当初の予定では、インターンシップを九月中旬に実施することにしていましたが、八月十二日(木)



女子ソフトテニス部による北信越インターハイの報告

に、岩手緊急事態宣言が出されたため、十二月に延期されました。
このような状況下ではありましたが、事前ガイダンスは開催し、各企業に行った際の基本的なマナーについて学びました。
受講した生徒は、インターンシップが始まるまでに、学んだことをしっかりと身に付けようと、決意を新たにしています。
なお、これは本校の総合的な探究の時間の取組である「T×A c t i o n」の一環として行われたものです。



ガイダンスの様子

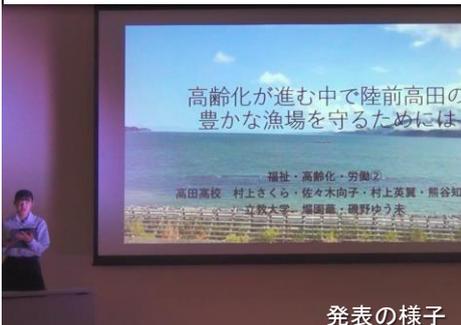


クレープができました



米崎リンゴを剥いています

地元食材を使用した調理実習
八月三十一日(火)の五・六校時、三年一組と三組の生徒により、地元食材を使用した調理実習が行われました。
この日の実習では、七月十三日(火)に開催された地元食材紹介講演会で学んだことをふまえて、夏休み中に各自が考えたレシピで、グループ毎にメニューを試作しました。
地元のフルーツを使用し、リンゴ飴やパフェ、クレープなどを作り、美味しく試食しました。
この調理実習も、「T×A c t i o n」の一環として行われました。



発表の様子

高大連携地域探究発表会
九月十二日(日)、氷上ホールを発表会場として、Zoomにより情報を発信する発表会が開催されました。
この日発表した内容は、これまで本校生徒が立教大学の学生さんから助言を受けながら研究してきた、「陸前高田市の地域課題の解決を探る」というものでした。
これまでの研究は、本校における「総合的な探究の時間」の活動であるT×A c t i o nの一環として行ってきたものです。
研究は、一学年の進学を希望する生徒でテーマごと十六チームに分かれて行ってきました。発表会には各チーム代表の十六人が参加し、これまで行ってきた研究の成果を堂々と発表しました。